

公益社団法人私立大学情報教育協会
2020年度第5回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会

- I. 日 時：令和2年7月31日（金） 18：30～20：30
- II. 場 所：Zoom ネット会議室
- III. 参加者：斎藤委員長、笈委員、牧野委員、大原アドバイザー、玉田主査、児島主査、和田委員、金子委員、阿部委員、角田委員、石川委員、大久保委員、渡辺アドバイザー、光井AD
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

ビデオガイドについて、各委員が作成したコンテンツを確認し、以下のような意見があった。

1. 初年次向け反転授業によるビデオ授業ガイド・ビデオ教材の例示
 - (1) 社会で求められる情報活用能力育成ガイドラインの背景・概要、教育改善の目的
 - ・ タイトルは、「社会で求められる情報活用能力育成の背景」とすることにした。
 - ・ 説明の受け取り方から、情報教育に全責任があるように意見される可能性があり、それぞれが分担・連携して取り組む必要性を理解するため、全面的には情報教育が悪者にならない話し方を希望された。
 - ・ 社会に出て、ビジネスに向かうことの重要性を確認させ、今こそ教員の出番であることを主張してはどうか。
 - ・ 文化の発展に注視しているが、文化のみで十分かと誤解をうまないように、文化と社会の発展などに役立つ情報活用教育として説明してはどうか。
 - (2) 初年次向け、問題発見・解決思考の反転授業シナリオ作り（解説）
 - ・ 前回のビデオから、教材紹介部分を少々変えたとの報告を受け承認された。
 - (3) 初年次向け、AI理解教育の反転授業シナリオ作り（解説）
 - ・ 今回の解説ビデオは、昨年度提案した4コマの授業シナリオから、AI部分の1コマに着目して解説ビデオとして取り上げた、とのストーリーにすることにした。
 - ・ Azureを使う短いイメージや手がかりになりそうな情報が何か提示できないか（AI活用動画を解説ビデオの一つ（URL）掲載している）
 - ・ AIで取扱う素材について説明が加わる可能性があるのか、例えば、AIにデータを食わせる手順の紹介が考えられる。
 - ・ AIの部分では、まず、体験をさせるところが大切ではないか。
 2. 専門科目と連携した情報活用教育のビデオ運営ガイドの例示
 - (1) 文系（経済学分野）
 - ・ 15分の再生時間となったが、専門領域での最初の説明でもあるため、今回の内容は短縮せず、そのまま採用することにした。
 - (2) 理工系（機械工学分野）、医療系（医学分野）
 - ・ 前回の構成で完成させることを確認した。
 - (3) 家政系（被服学分野）
 - ・ 被服特有のテーマはそのまま活かして、到達目標・到達点の該当する部分を提示するなどの意見を踏まえて、次回にビデオ完成を目指すことにした。
 3. 情報提供と意見交流の場
 - ・ Google Classroom を掲示板として利用することにし、委員会からの回答の周期を一か月として大会で説明することにした。
- V. 今後のスケジュール
- 次回は、8月7日（金）17：00 から合同会議を開催し、修正意見の出た解説ビデオについて完成を目指すことにした。